

あしよろ・ハードサポート通信

8月上旬は猛暑に見舞われましたが、最近暑さも和らぎ過ごしやすい日が続いています。今回は現場での繁殖管理方法についての話題です。

◆ 牛群の繁殖状況を正確に把握する

酪農場において、安定した生乳生産量や後継牛頭数を確保するためには先々の分娩予定を途切れさせないことが必要であり、牛群での繁殖状況を把握することが大切です。繁殖管理の方法は色々なものがありますが、どの方法においても現在の状況を速やかにチェックできるかどうか大切です。

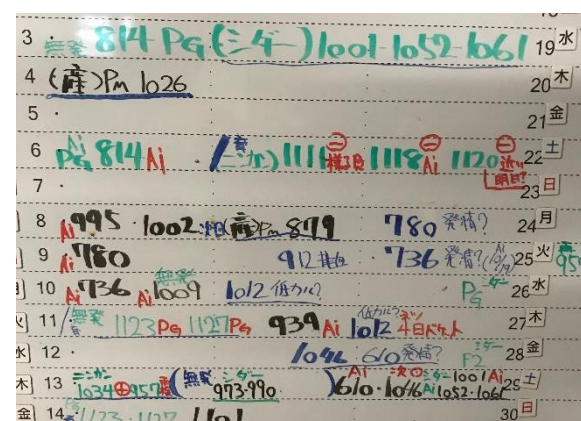
◆ カレンダーでの繁殖管理

牛群では毎日のように繁殖に関するイベントが起こっています。分娩や発情、ホルモン剤の投与、人工授精、妊娠鑑定などです。

これらの繁殖イベントをカレンダーに記載することで、「いつ」、「どのような」ことが起こり、そして「何を」行ったか一目で確認することができます。またCIDRプログラムを行う際などに、先々の繁殖イベントを前もってカレンダーに記載すると、予定を忘れずに実行することにもつながります。

中段の写真のように、一列が曜日ではなく牛の発情周期（21日）になっているカレンダーもあります。授精した日に牛番号を記載すると、一列下の日付が次の発情予定日になるので、再発情発見の目安になります。

下の写真はホワイトボードのカレンダーです。どのような繁殖イベントなのかを自分で把握しやすいように、文字を色分けする工夫がされています。



◆ ホワイトボード台帳での繁殖管理

繁殖台帳(カルテ)で繁殖管理を行う場合もありますが、別途でホワイトボードに台帳を作成し、牛舎内に設置することで牛ごとの繁殖状況を速やかに確認することができます。

右の写真では分娩日や産次、最新授精日、次回発情予定日、分娩予定日などが牛ごとに記載されています。こちら文字の色分けが行われており、さらに特定の牛へはマグネットでマーキングがされています。マグネットも色分けをすることで、瞬時に牛の状況をわかりやすくできるツールになります。

牛 ゴト	名 号	生年月日 登録No	今回分娩 日	産次	性別	授精 日	次回発情 予定日	分娩 予定日	乾乳 日
927		29.2.20	30.6.20	5	♀	30.1.17	2.1		
1020		30.11.26			♀	31.2.28	2.18		
909		30.10.20		9	♀	31.1.6	1.27		
1045		30.6.25		1	♂	30.8.23	9.13	31.6.3	
947		30.7.12		6	♂	31.1.16	2.6		
902		31.1.13		3	♀	31.2.21	3.14		
885		29.12.3		3	♀	30.7.6	6.28	31.3.19	
808		30.8.25		6	♂	31.2.22	3.15		
619		30.11.18		5	♀	31.1.16	2.6		
889		30.7.19		♀	30.10.7	10.28	31.2.17		
964		30.7.12		2	♀	30.7.15	8.5	31.4.25	
1023		31.1.2		2	♀	31.2.10	3.1		
801		30.8.18		6	♂	30.11.7	11.28	31.8.17	
948		30.8.29		3	♀	31.2.3	2.24		
817		30.12.2		4	♂	31.2.26	3.21		
925		30.9.6		♀	30.11.17	12.7	31.8.27		
999		29.10.30		♂					
1060		30.9.8		1	♀	30.11.3	11.24	31.8.13	

右の写真はシンプルなホワイトボード台帳です。細長くカットしたマグネットの板に牛ごとの分娩日や最新授精日などが記載されています。

この方法では記載できる情報が少ないですが、自分の好みで場所を移動したり並び替えたりすることができます。例えば未授精の牛は「未授精牛」ゾーンに移動したり、受胎済みの牛は分娩予定日で並び替えたりすることで、より状況を把握しやすくなります。

2068	29.2.18	2	12/8	F	12/2
1719	29.5.10	2	11/6	F	12/20
379	29.5.10	2	11/1	X	12/23
884	29.9.23	2	12/9	F	12/20
620	29.8.16	2	11/3	F	12/14
588	29.7.25	7	11/4	F	12/5
1027	29.5.22	2	11/5	F	12/17
5280	29.5.16	2	11/5	F	12/17
2641	29.6.19	2	11/4	X	12/21

◆ 繁殖イベントは常に更新することが大切

最近ではスマートフォンでも繁殖管理を行えますが、どの管理方法においても、毎日繁殖イベントの確認と更新を行うことが大切になります。そのため、「常に確認できる場所」に繁殖管理用ツールを配置することも大事なポイントです。繁殖管理に関してはいつでもご相談をお受けしますので、ご遠慮なくお声がけください。(市川雷太)

- ・ 9月下旬に第3回「魁！銀河塾」を開催予定です。今回のテーマは畑関係で、講師はJAあしよる農産課の上原係長にお願いする予定です。詳細は後日FAXにてご連絡します。